

# 工業俱樂部

KAGOSHIMA INDUSTRIAL CLUB

■発行:(公社)鹿児島県工業倶楽部 ■企画・編集:総務・広報委員会 〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 県産業会館内  
TEL 099-225-8012 FAX 099-225-8020 <http://www.ikick.or.jp> E-mail:info@ikick.or.jp



平成30年 公益社団法人  
鹿児島県工業倶楽部新年大会  
各種活動紹介  
若手経営者・後継者紹介  
新会員情報

平成  
30年

公益社団法人

# 鹿児島県工業倶楽部新年大会

◆日時 / 平成30年1月30日(火) ◆会場 / 城山観光ホテル(ロイヤルガーデン)



岩元正孝会長



三反園訓知事(鹿児島県)



前田芳實学長(鹿児島大学)



酒井忠久氏(庄内藩酒井家18代当主)



会員の交流、資質向上のために講演会を中心に実施されている「工業倶楽部新年大会」が1月30日(火)に鹿児島市内のホテルで約120名が参加して開催されました。新年大会の恒例となっております講演会は、庄内藩酒井家18代当主酒井忠久氏を講師にお迎え、「南洲翁遺訓と庄内藩」について講演していただきました。またその講演を受けてNPO全国街道交流会議理事の田中孝治氏のコーディネートで酒井氏と工業倶楽部の岩元会長が「明治維新から未来維新へ」というテーマで対談し、薩摩と鶴岡の相互の関わりから今後の産業振興のことにまで話が及びました。講演後の交流パーティーでは、小林洋子副知事も参加し、なごやかな新年大会となりました。



# 「南洲翁遺訓」と庄内藩について



西郷隆盛と菅実秀  
(庄内藩家老)の対話

## 1. 薩摩藩と庄内藩が戊辰戦争の口火を切る

- 庄内藩の江戸市中取締りと薩摩藩邸焼討事件  
150年前の慶応3年旧暦12月25日(現在の暦でいうと1月19日)におきた

## 2. 庄内藩の藩風「沈潜の風」と戊辰戦争

- 庄内藩の藩風 — 致道館精神
  - ・7代藩主忠徳による藩政改革と藩校致道館の設立、本間光丘による財政改革
  - ・領民と結ばれた強い絆—庄内藩への三方領地替えに対して庄内の領民あげて反発し沙汰止みに
- 戊辰戦争—最強の軍団といわれた庄内藩の戦い  
藩士、領内の商人や庄屋層、領民の間で結ばれた絆は、戊辰戦争でも発揮された。
  - ・新政府軍との戦いにおいて、最終的に4500名を超える兵を動員。そのうちの半数が農民や町民といった領民により組織された民兵
  - ・本間家の支援による新式銃等の装備(奥羽越随一の装備)
  - ・明治元年(1868)旧暦9月25日、庄内藩は連戦連勝のまま降伏し戦争終結

### ○戊辰戦争の戦後処理

- ・明治元年(1868)(旧暦)9月27日に北越出征軍の総指揮官として西郷隆盛が庄内入り。西郷は、帰順した庄内藩は旧領地に安堵させようと官軍(総督府)の中で主張。(慶応4年(1868)に薩長新政府が公表した「朝敵名簿」に、当初庄内藩は載っていなかった)
- ・焦土と化した会津や磐城平への移封命令(長州藩大村益次郎の指示とされる)  
明治2年(1869)庄内復帰。(新政府要人への働きかけ、領民や本間家の献金、藩主家の売り立て)
- ・菅実秀が黒田清隆から、西郷の配慮があったことを聞き、「庄内藩の今後の指導を託すのは西郷において他にはいない」との藩議に—西郷隆盛への傾注

## 3. 旧藩主忠篤らの薩摩留学

- 西郷隆盛と寝食を共に  
忠篤と旧藩士は100日余りも鹿児島に滞在して西郷ら薩摩藩士に教練をこい、まさに寝食を共にするようつきあいだったとされる。
  - ・「明治六年政変」で西郷隆盛が下野し私学校を設立。庄内藩士の子弟が私学校へ入学し、明治10年の「西南戦争」では進んで従軍して戦没している。
  - ・明治新政府は、庄内藩も西南戦争に参戦するのではないかと庄内城下に斥候を配置して、その動きを監視していた。

## 4. 西郷隆盛と松ヶ岡開墾場、松岡製糸所について

- 刀を鋤に—松ヶ岡開墾  
明治初期の日本を支えた近代産業である製糸業をこの地に興し、新しい国家に貢献することで賊軍とされた汚名を晴らしたいという思い。これには西郷隆盛が深く関わっていたとされる。
- 松岡製糸所の開設
  - ・松ヶ岡の蚕室は日本で唯一現存する上州式大蚕室(文化庁「日本遺産」に認定)

## 5. 「南洲翁遺訓」と旧庄内藩士

- 「南洲翁遺訓」の頒布と西郷隆盛の遺徳の全国伝道
  - ・「南洲翁遺訓」は西郷から庄内藩士が直接聞いた教訓や思想であり、旧庄内藩士が全国に伝道した。
- 上野に西郷隆盛の銅像  
酒井忠篤、発起人になる。旧庄内藩内からの寄付者344名
- 旧庄内藩士による西郷隆盛の肖像画の発行

## プラザ

### ◆八日会 10月10日(火)

坂上校長先生に紙飛行機発射台の実演をお願いし、発明や創意工夫を通してどう地域へ貢献するかについて学びました。



### ◆84 プラザ 11月24日(金)

今日本のウイスキーは世界で注目されています。そこでウイスキーづくりに取り組んでいる本坊酒造の瀬崎俊広知覧蒸留所長に「本坊酒造の鹿児島産ウイスキーについて」講演していただきました。地域の資源を活用し、歴史、文化、人、技術の響和をもってウイスキーづくりに取り組んでいるとのことでした。



### ◆プラザいもづる 10月13日(金)

情報交換を中心に、毎月楽しく定例会を開催しています。今回は、中崎宗治様宅のブドウ園での楽しい懇談会でした。



### ◆さつまプラザ・プラザさくらじま 10月6日(金)

鹿児島大学の大本公彦名誉教授に「桜島とマグマのお話」について講演していただきました。少人数で先生の貴重なお話を聞ける、ぜいたくな時間でした。



### ◆地域資源活用プラザ 11月27日(月)

鹿児島大学の先生方を中心に、工業倶楽部会員から相談を受けて問題解決に取り組むチームですが、今回はプロジェクトチーム「ウニ」を開催。ウニ殻の活用について検討しました。



## 地区プラザ

### ◆南薩地区プラザ 8月10日(木)

南さつま市で開催し、会員の近況報告の他、幕末の薩摩や明治維新等についても学びました。



### ◆川薩地区プラザ 10月17日(火)

薩摩川内市で開催し、小谷俊明氏を講師に招いて「世界1の冷却技術を搭載したLED照明器」について講演してもらいました。実際にライトを点灯し、その性能を確認できました。



### ◆出水地区プラザ 11月29日(水)

今回は出水市野田で開催。出水市の大橋副市長が「今後の地域農業の活性化、鳥獣被害対策と活用」と題して講演しました。休憩時間に鶴どん焼きを食べたり、交流会で地鶏のすき焼きを食べたりとグルメな会になりました。



### ◆始良・霧島地区プラザ 9月6日(水)

米山事務局長が、工業倶楽部の最近の新しい動きについて解説した後懇親会に。近況報告をしながら沖縄料理で楽しい会になりました。



### ◆大隅半島地区プラザ 9月25日(月)

地元曾於市役所も参加して、盛大な会になりました。今回新たにマトヤ技研工業(株)の益留氏が大隅半島地区プラザの代表に就任しました。



## 部 会

### ◆食産業部会 8月2日(水)

県食品加工研究機関成果発表会に参加した後に、新規加入会員による「食に関する」プレゼンテーションを行い、ICT、食とマンガの深い関係、世界へ羽ばたく九州の食などについて、今後に向けた前向きな議論が交わされました。



## 委 員 会

### ◆渉外委員会 逆ラボツアー 11月7日(火)

今回は中越パルプ工業(株)を訪問、「紙だからこそできること」について視察しました。製紙、セルロースナノファイバー、バイオマス発電、竹紙などについて視察しましたが、環境に対する配慮や施設の規模の大きさなど、感銘することの多い視察でした。



### ◆特命委員会 第7回食と健康に関するシンポジウム 11月13日(月)

鹿児島大学の稲盛会館で開催し、工業倶楽部・鹿児島大学関係者や一般の方々など約190名が参加しました。

第7回となる今回は、【テーマ1】「薬は健康長寿を実現するか」について、クラシエ製薬株式会社漢方研究所長 高橋 隆二氏と鹿児島大学理工学研究科 伊東 祐二教授が、抗老化作用の研究事例やタンパク質から作る革新的バイオ医薬品について講演しました。

また、【テーマ2】「食べて健康になる鹿児島の食材」

については、株式会社サナス商品開発部次長 吉永 一浩氏、株式会社山口水産取締役副社長 山口 大悟氏そして鹿児島大学農学部 加治屋 勝子講師が、サツマイモからの機能性食品開発、より「美味しく」「高機能な」地域の魚を届ける取り組み、鹿児島産農産物が血管アクシデントを防ぐ、といった講演を行いました。パネルディスカッションでは会場から質問もあり、健康長寿と食の関わりについて考える充実したシンポジウムとなりました。



## トピックス

### 第71回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」 11月8日(水)

鹿児島東急 REI ホテルで開催され、3社がビジネスプランを発表しました。

- ① 株式会社薩摩太良院 [旧:株式会社大麦屋] (伊佐市) さつまいもを麦芽で糖化させた水あめ「太良院あめ」を使った「銀河坑道プリン」など地域の素材を活かした菓子の販路拡大
- ② 株式会社DIT (霧島市) 巨大地震に耐え抜く安価でエネルギー吸収性能の高い木造住宅用制震デバイス「DIT制震筋かい金物」の販路拡大
- ③ マトヤ技研工業株式会社 (曾於市) 衛生的で生産性の向上に貢献する食肉処理装置 (鶏ボンジリ自動脱骨機、食用畜肉の除毛装置 (豚足脱毛機) 等) の販路拡大

# 地域の未来を創る、次代を担う若手経営者紹介

みなぎる好奇心が今を創り、その経験を通して、新しいコトへ挑む日々！  
鹿児島への想いや、海外の人々への感謝の気持ちなど、文字に表現できない程賜りました。  
辛酸・苦悩・光明、涙とたくさんの汗。一層の飛躍・成長を期待いたします。



## 鹿児島と世界をつなぐ一番身近な翻訳会社、 日本を外国人に正しく伝えるために。

地元の高校を卒業後、20歳まで鹿児島にいたのですが、将来の自分に不安を感じ始め、元々地元愛が強く県外に出るという考えは無かったのですが、どうせ出るなら視野と世界観を拡げるために海外に出ようと思い、求人を探して中国の日系企業に勤めることになりました。しかし、日系企業ということもあり日常生活が日本語でも通用してしまう環境だったので、物足りなさを感じるようになり、せっかく海外に来たのだからいろんな国の人々と交流がしたいと思い、様々な国の人々が暮らすアメリカに留学しました。3年間のアメリカ生活の中で、日本との文化や常識の違いに驚かされました。

その後はオーストラリアに渡り、海外で更に活動したいと思い、日本語教師の資格を取って1年間教師として勤務しました。そして再び中国に渡り、きちんと言葉を身につける目的で日本語を話さないローカル企業に勤めました。

20歳から27歳まで7年間海外に住んでいましたが、長い海外生活を続けられたのは、いろんな国々の方々に助けていただいたからだ実感しています。その経験を経たことで、いつかいろんな国の人々に恩返しをしたい、橋渡しの役割が出来ればと思い、鹿児島に戻ってきました。

そんな思いで帰国したものの、なかなか仕事が見つからず、自分のやりたい仕事をするため、会社を立ち上げることを決意しました。そこで経営感覚と営業スキルを身につけるため福岡の企業に3年間勤め、7年間の海外での経験を活かし、10カ国語に対応した翻訳に携わる会社を立ち上げました。

Climbest(クラインベスト)という社名は、Climb(登る)とbest(頂上)を掛け合わせた造語になります。やる以上は鹿児島で1番を目指すという意味と、関わる人全員で今よりもっと上を目指していくという意味が込められています。早いもので、草創期から3年が経ちますが、工業倶楽部を始め、いろいろな団体や企業の方々に支えていただき、つながりを経て、実績を作れたことに対し感謝しています。

これからも海外の人々にもっと鹿児島を知ってもらい、ファンを増やすため、美味しい食材や豊かな自然、そして培われてきた地域ごとの文化や祭り等の紹介は勿論、鹿児島を支える企業や「ヒト、モノ、コト」を通訳や翻訳を通して発信していきたいと思っています。



株式会社 Climbest  
(クラインベスト)

代表取締役 脇野 真梨江 (33歳)



国際交流の会

### ● 翻訳例 ●

会社案内、商品案内のパンフレット、飲食店のメニュー、ホームページ、様々な資料

〒892-0815 鹿児島市易居町1-2 鹿児島市役所  
みなと大通り別館6階ソーホーかごしま11号室  
TEL:099-811-0349  
Mail:m.wakino@climbest.co  
http://www.climbest.co

## 鹿児島県の産業の発展のために、新しい風を。



### 原口 和敏 (本格焼酎アドバイザー&コンサルタント)

34年に亘り焼酎業界で新規事業立上げや県外勤務に携わり昨年、定年退職致しました。本県の焼酎業界は“価格破壊”や“芋焼酎ブーム”等の激動期を経て地場産業から全国区へと目を見張る成長を経験しました。しかし乍ら現在は停滞期に突入し将来のビジョンが見えない現状に直面して居ります。

在職中は法人会員として“工業倶楽部”の活動にも参加、異業種交流を通じて見聞を広げさせて戴きました。その経験を活かし、個人会員として新たな視点で焼酎業界のみならず食品製造業全般のボトムアップに貢献できればと思っております、何卒宜しくお願い申し上げます。



### 小濱 輝弥 (株式会社ミタデン第1施設部係長)

この度、本倶楽部に入会させて頂き感謝申し上げます。

弊社ミタデンは、設備業を中心に電気設備工事、空調・管設備工事、電気通信設備工事、防災設備工事を行って参りました。これまでの経験と知識をさらに活かすべく、本倶楽部に入会させて頂きました。

本倶楽部に所属されている多種多様な業種の皆様と交流を深めさせて頂き、私自身も先輩方に少しでも近づける様、頑張っていきたいと思っております。会員の皆様方からのご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



### 原口 美津子 (世紀産業株式会社)

この度、鹿児島県工業倶楽部に入会させて頂き有難うございます。証券会社を退職したら何か事業をしたいといつも考えていました。薩摩藩では約400年前から漢方の原料植物の研究を進め、中国の学者への質問をまとめた「質問本草」という一冊の本に100種類以上の薬用植物の効能を収載しています。この本から健康にとってもいい漢方シナモンに気付き、地元地域活性化を目指しながら鹿児島より日本初シナモン製造販売を手掛けて頑張っています。色々なことを挑戦していきたいです。

今後、皆様方のご指導とご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



### 榊 了慈 (社会福祉法人陽光会 陽光苑相談部・臨床宗教師)

昨年、鹿児島に移住してきました、かごま初心者です。日々、鹿児島の豊さを楽しみと味わっています。何の力もございませんが、鹿児島を生きる人々のために、心をこめて活動させて頂きます。

聞き慣れない言葉ですが、臨床宗教師とは被災地や医療・福祉などの公共空間で心のケアを提供する宗教者です。布教や伝道を目的とせず相手の苦悩や悲嘆に寄り添います。現在は高齢者福祉施設で入居者様、入居者様のご家族、スタッフのこころのケアを担当させて頂いています。かなり異色の職業となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。



# 名水・銘酒を生む世界自然遺産の島「屋久島」より

日本名水百選の清冽で豊かな水は、無数の溪谷や、  
滝となって神々しい自然景観を形づくり酒造りに欠かせない  
「生命の水」として、《三岳》のまろやかな味わいをつくり出しています。

鹿児島県産さつま芋を原料とし、原生林に濾過された  
名水で仕込む本格焼酎「三岳」は、独特の風味、  
飲み口のよさ、爽やかな酔い心地です。



三 岳 (25%)  
1,800ml

原 酒 (39%)  
720ml

地理的表示



SATSUMA  
SHOCHU

WTO (世界貿易機関) の協定で、  
産地指定を受けています。  
※地理的表示薩摩は、鹿児島産  
のさつま芋と水、鹿児島県内  
で製造された本格焼酎の証です。



鹿児島県ふるさと認証食品  
※優れた品質・正確な表示  
地域の環境と調和を表している。

## 本格焼酎・薩摩焼酎《三岳》

### おいしい焼酎の飲み方

#### お湯割り

- ・最初にお湯、次に焼酎を注ぐ。
- ・割合は、焼酎6対湯4か5対5。

#### 水割り

- ・割合は、焼酎6対水5対5。
- ・おいしい水を厳選する。(軟水)
- ・水で割り、一晩以上寝かせる。(前割)

#### ロ ッ ク

- ・透明でおいしい氷を使う。
- ・大きめの氷を3～4個入れる。
- ・氷にぶつけるように焼酎を注ぐ。

〒891-4311 鹿児島県熊本郡屋久島町安房 2625-19 三岳酒造株式会社



漬物製造卸業

かんぽし屋

しまづりめ 島津梅 本舗

みづたまり

溜 水溜食品株式会社

商品のお問合せご注文は

 0120-294000

TEL0993-77-0108

FAX0993-77-1423

南さつま市金峰町宮崎2940

水溜食品株式会社

検索 